

## ◆はじめに◆

平成24年第1回倶知安町議会定例会の開会にあたり、町政執行の基本方針並びに施策の概要について申し述べ、議員各位をはじめ、町民の皆さまのご理解とご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

昨年3月11日に発生した東日本大震災から早や1年が経とうとしておりますが、この大震災によって亡くなられた約2万人に及ぶ方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、震災と福島第一原発事故により避難されている34万人を超える被災者に対しまして改めてお見舞い申し上げます。

多くの命と穏やかな故郷での暮らしを奪った大震災の爪痕は、いまだ深く被災地に刻まれたままです。

今、日本は東日本大震災と福島第一原発事故の未曾有の国難に加え、歴史的な円高と長引く経済不況による経済活力の低下という難局に直面しています。

そして、日本の経済社会が長年抱えてきた課題は残されたまま、大震災により新たに解決が迫られる課題が重くのしかかっているのです。

低迷の続く国内政治・経済の中、地方自治体の置かれている状況は、財源確保や地域主権、地方の自立など、依然厳しい行財政運営を迫られております。

こうした厳しい環境において、まず、地方自治体として、将来に持続可能で健全な行財政基盤を構築することが基本であり、住民と行政が知恵を出し合い、協働の精神を基本に各種施策を推進することが重要であると考えております。

私は、町政の舵取り役として重責を担わせていただき、2期目の2年目に入りました。きわめて混沌として将来が不透明な時代の中で、本町も多くの課題を抱えております。

特に、喫緊の課題として、地域医療体制の確保、泊原発に係る防災対策、廃棄物広域処理、中学校統合による増改築、学校給食センター改築等々ありますが、町民の皆さまが安心して安全な生活を送ることができる町政を進めなければならないという使命感の下、「倶知安の未来、みんなと一步一步」をスローガンに掲げ、町民の皆さまと議会、行政が心一つに合わせ、引き続き全力でまちづくりに取り組んでまいります。